

様式第 8

平成25年度循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
知多市	(知多市)	平成19～23年度	平成19～23年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現状 (割合※1) (平成17年度)	目標 (割合※1) (平成24年度) A	実績 (割合※1) (平成24年度) B	実績B /目標A	
排出量	事業系 総排出量	7,090 t	6,960 t (-1.8%)	5,132 t (-27.6%)	73.7%
	1事業所当たりの排出量 (※2)	3.279t/事業所	3.219t/事業所 (-1.8%)	1.816t/事業所 (-44.6%)	56.4%
	家庭系 総排出量	24,462 t	24,574 t (0.5%)	23,302t (-4.7%)	94.8%
	1人当たりの排出量 (※2)	244kg/人	232kg/人 (-4.9%)	236kg/人 (-3.3%)	101.7%
合 計	事業系家庭系総排出量合計	31,552 t	31,534 t (-0.1%)	28,434.4t (-9.9%)	90.2%
再生利用量	直接資源化量	0 t (0.0%)	0 t (0.0%)	0 t (-)	-
	総資源化量	5,834 t (18.5%)	6,552 t (20.8%)	5,468.4t (19.2%)	83.5%
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	5,288MWh	5,146MWh	4,567MWh	88.7%
減量化量	中間処理による減量化量	23,020 t (73.0%)	22,444 t (71.2%)	20,087 t (70.6%)	89.5%
最終処分量	埋立最終処分量	3,728 t (11.8%)	3,642 t (11.5%)	3,653 t (12.9%)	100.4%

※1 排出量は現状に対する割合、その他の指標は排出量に対する割合

※2 1事業所当たり、1人当たりの排出量は資源を除いた値であり、平成24年度実績の事業所数は2,260、人口は85,822人である。

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの	11	有料化の検討	知多市	処理手数料の適正化を図る	H19～H23	平成22年10月に、ごみ処理手数料、一般廃棄物処理業に係る各種手数料を改定し、ごみの排出抑制、減量化に取り組んだ。
	12	広報啓発	知多市	パンフレット、ホームページの充実、啓発イベントの開催	H19～H23	市の広報誌、ケーブルテレビ、ポスター、チラシ等を通じた、ごみの分別及び減量化等についての啓発活動や、ごみの減量化、リサイクルに関するイベントの開催により、啓発に努めた。 また、清掃センター及びリサイクルプラザにおいて施設見学者の受入れを行った。
	13	マイバッグ運動の推進	知多市	買い物袋持参・過剰包装は断るなど、減量化に向けての啓発活動を行う	H19～H23	買い物の際、袋を持参する、過剰包装は断るなどの減量化に向けた施策の啓発を行うとともに、地域の商店等に協力を呼びかけ過剰包装の自粛及び、マイバッグ運動の推進を実施した。また、学校授業において、マイバッグの製作を実施した。
	14	生ごみ・剪定枝処理	知多市	保育園等の公共施設に生ごみ処理機を設置し、ごみの減量化を図る	H19～H23	保育園等の公共施設に生ごみ処理機を設置し、施設内で発生する生ごみを処理し、ごみの減量化を図った。 公共施設等から出る剪定枝をチップ化し、ごみの減量化を図った。

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの	15	多量排出事業者への減量化指導	知多市	多量排出者への指導、販売事業者における資源回収協力の要請を図る	H19～H23	多量排出事業者に対し、事業所から発生したごみの搬入指導や、大型店舗開店時における販売事業者への資源回収協力要請を図った。
	16	再使用の推進	知多市	リサイクルプラザの機能強化、フリーマーケットなどのリユースの啓発と場所の提供	H19～H23	リサイクル創作教室等を開催し、リサイクルプラザの機能強化を行うとともに、5月と10月にフリーマーケットを開催し、リユースの啓発と場所の提供など行った。
	17	情報提供	知多市	広報誌、情報無線、有線テレビを利用した情報提供	H19～H23	市の広報誌、インターネット及びケーブルテレビを利用し、市民に向けて環境情報などを提供した。
処理施設の整備に関するもの	1	最終処分場	知多市	最終処分場の建設事業	H20～H21	平成22年4月に東鴻之巣最終処分場を供用開始した。
施設整備に係る計画支援に関するもの	31	1の計画支援	知多市	最終処分場の実施設計	H19	同 上

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
その他	41	グリーン購入	知多市	環境負荷の少ない製品に関する情報提供を行う等の購入を支援	H19～H23	市のホームページや広報誌などで、環境ラベル(エコマーク、グリーンマーク)の説明や、市において環境負荷の少ない製品の積極利用を行うなど、市民、事業者によりグリーン購入を支援した。
	42	スラグの有効利用	知多市	品質改善等を検討し、有効利用ルートを確保	H19～H23	清掃センターから排出されるスラグの品質改良等を検討し、スラグの有効利用を図った。平成23年度には205 tの有効利用を行った。
	43	不法投棄対策	知多市	監視指導の強化、広報活動等による啓発	H19～H23	広報活動等により、不法投棄の防止に対する啓発を行った。また、関係機関との連携、協力して監視指導の強化を図った。
	44	災害時の廃棄物処理に関する事項	知多市	災害廃棄物処理計画を踏まえた体制整備	H19～H20	「知多市災害廃棄物処理計画」(知多市生活環境部 平成21年3月)を策定し、災害廃棄物の広域的処理体制の整備を進めた。

3 目標の達成状況に関する評価

本市では、平成8年3月にごみ処理基本計画を策定し、その後三度の改定を行い、ごみの発生抑制と資源化の推進について施策を展開している。

○排出量

排出量は、目標31,534 tに対し、実績28,434.4 tであり、目標を大幅に達成している。景気低迷の影響もあり、平成21年度に約2,700 t減少し、また近年では、ごみ処理手数料等の見直しや意識啓発の継続など、排出抑制策の実施により、減少が続いている。

家庭系1人当たりの排出量をみると、目標232kg/人に対し、実績236kg/人であり、目標を達成できていない。平成17年度以降、減少傾向を示しているものの、目標には及ばず、更なる減量努力が必要である。

○再生利用量

知多市は、「知多市方式資源回収」として、市が回収・売却する地域回収と、住民団体が行う資源回収に対して奨励金により支援する集団回収の2方式を行っている。事業系についても、食品残渣等の堆肥化、剪定枝のチップ化等、積極的に行っている。また、処理後に関しては、ごみ処理施設からの熱分解鉄・アルミの資源化や、粗大ごみ処理施設からの破碎前の鉄・その他金属の回収、破碎後の鉄・アルミの資源化にも取り組んでいる。

再生利用量は、目標6,552 t（再生利用率20.8%）に対し、実績5,468.4 t（19.2%）であり、目標を達成できていないが、平成17年度の再生利用率18.5%であり、平成17年度よりも増加している。この理由として、ごみ総排出量の減少に伴い、資源ごみ自体も減少していること。資源化ルートとして、新聞店等の資源自主回収の推進や民間資源回収ステーションの設置などが増えてきており、市が量を把握できてないルートでの資源化が行われていること。などが挙げられる。今後も、資源回収を推進し、民間ルートでの資源化量の把握に努める必要がある。

○最終処分量

最終処分量は、実績3,653 tであり、平成17年度3,728 tより減少しているが、目標3,642 tをわずかに達成できていない。排出抑制、再生利用を推進し、更なる最終処分量の減量に取り組む必要がある。

(都道府県知事の所見)

家庭系1人当たりの排出量、再生利用量及び最終処分量が目標を達成できなかったものの、総体としては目標以上に排出量が削減されており、本計画において諸施策が概ね有効であったことが認められる。

目標を達成できなかった項目については、改善計画書のとおり目標の達成に向けた施策を実施することとしており、今後の推移を見守ることとしたい。

今後は、家庭系生ごみの発生抑制、資源化量の実態把握等、未達成項目に関する施策を中心に施策を充実し、さらなる循環型社会の形成推進に努められたい。

県においても、必要に応じて助言する等、支援していく。